

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
 施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
 なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書・仕様書は
 所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。

本製品は弊社製住宅用分電盤「プチパネル（HCB・HPB・HSB・HMB）」
 および「安全ブレーカタイプ（HPA・HCA）」専用です。
 その他の弊社製分電盤および他社製分電盤への取付けはできません。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

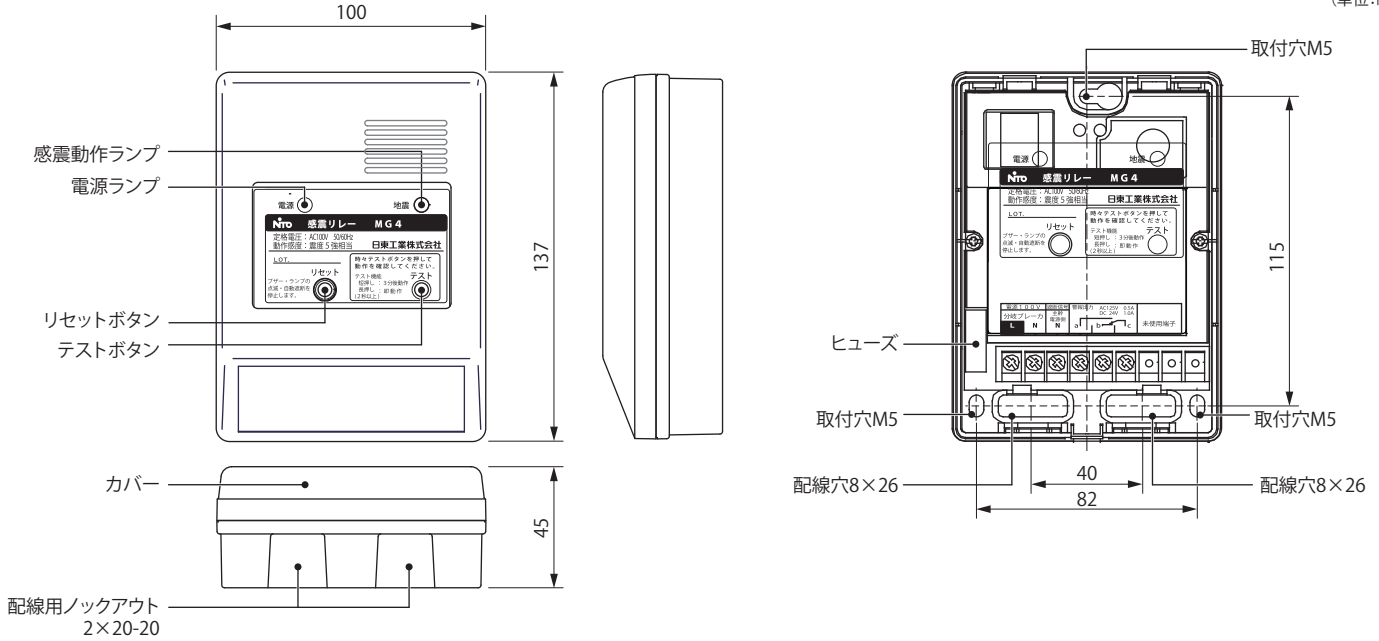
なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

危険											
	<p>施工・点検は、主幹ブレーカおよび上位ブレーカを OFF にし、電源が供給されていないことを確認してから行ってください。感電、短絡、中性線欠相による過電圧のおそれがあります。</p> <p style="text-align: center;"> 分解禁止</p>										
注意											
	<p>次のような場所では使用しないでください。故障、誤動作の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲温度が -5℃～ 40℃の範囲を超える場所 ・ 結露、氷結が生じる場所 ・ 湿度が高い場所 ・ 粉塵や腐食性ガスのある場所 ・ ノイズ（電界、磁界）の強い場所 ・ 屋外などの雨や日光の直接当たる場所 <p>ラジオ、テレビ、受信機など磁気が発生するものの近くに設置しないでください。正常に動作しないおそれがあります。また、違法電波を受ける場所に設置しないでください。誤作動による停電の原因となります。</p> <p>ドア、扉など振動や衝撃が発生する場所の近くには設置しないでください。誤作動による停電の原因となります。</p>										
	<p>電気工事は、有資格者（電気工事事）が行ってください。</p> <p>電源は必ず分岐ブレーカ（定格電流 15A または 20A）へ接続してください。分岐ブレーカ以外への接続は火災の原因となります。電源の分岐ブレーカは感震リレー専用としてください。兼用した場合は、電源喪失による不動作の原因となります。</p> <p>ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水が製品内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。</p> <p>定格電圧にてご使用ください。不動作、故障、事故の原因となります。</p> <p>電源の相は正しく接続してください。間違えると故障や不動作の原因となります。</p> <p>取付角度の傾斜は、鉛直に対し前後左右とも ±5°以内としてください。誤作動による停電の原因となります。</p>										
	<p>端子ねじの締付けは、適正締付トルクの範囲で行ってください。過度の締付けは、端子やねじの破壊の原因となります。また、作業後、端子ねじの締付け忘れがないことを確認してください。誤作動、故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>適正締付トルク</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M 3.5</td> <td>0.7 ~ 0.8</td> </tr> <tr> <td>M 5</td> <td>2.5 ~ 3.5</td> </tr> <tr> <td>M 6</td> <td>4.0 ~ 5.0</td> </tr> <tr> <td>M 8</td> <td>5.5 ~ 7.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>本体取付ねじは 3カ所すべて締付けてください。誤作動の原因になります。</p> <p>本体端子部へは圧着端子を使用し、必ず絶縁キャップを取付けてください。接続不良による火災、絶縁不良による短絡の原因となります。</p> <p>遮断信号端子からの配線は必ず主幹ブレーカ一次側端子の N 相へ接続してください。N 相以外に接続すると不動作や故障の原因となります。</p> <p>配線完了後にテスト確認を行い動作が正しいことを確認してください。</p> <p>テスト確認後に本体用端子カバーを必ず取付けてください。本体用端子カバーは一度取付けると外せません。無理に外すと破損します。</p> <p>カバーを必ず取付けてください。埃などにより不動作、誤動作の原因となります。</p>	ねじの呼び	締付トルク N・m	M 3.5	0.7 ~ 0.8	M 5	2.5 ~ 3.5	M 6	4.0 ~ 5.0	M 8	5.5 ~ 7.5
ねじの呼び	締付トルク N・m										
M 3.5	0.7 ~ 0.8										
M 5	2.5 ~ 3.5										
M 6	4.0 ~ 5.0										
M 8	5.5 ~ 7.5										

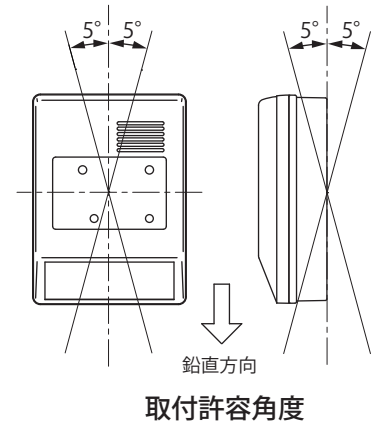
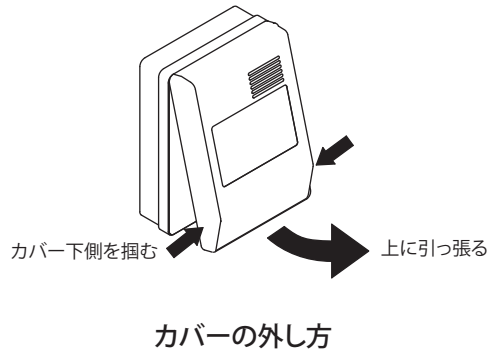
■各部の名称と外形寸法

(単位:mm)



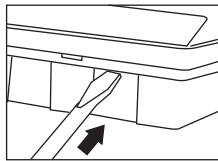
■取付

- ①カバーを外します。
カバーの下側を掴んで引っ張ります。
- ②上記、外形寸法(取付穴)と取付許容角度に従い、壁に取付けます。
取付ねじはM5をご用意ください。



●ノックアウト部の開口方法

- 下方から露出配線する場合はノックアウト部を使用します。
⊖ドライバーを下図の位置に押し当て、ゆっくりと差込んでノックアウト部を開けることができます。

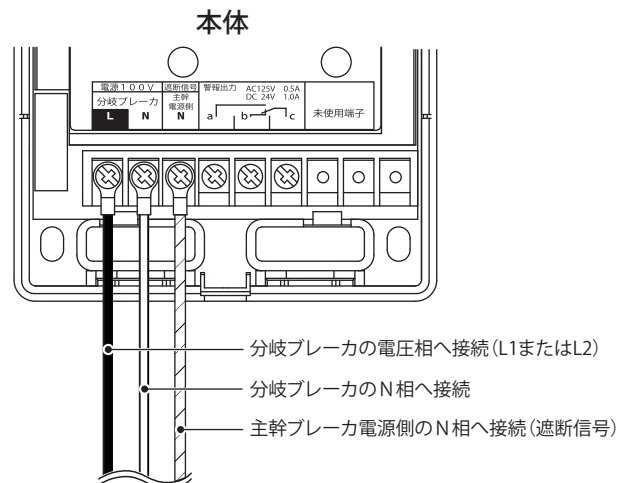


■本体への配線

図に従って本体へ配線します。

ご注意

- 単芯φ1.6mmをご使用ください。
- 本体への接続部には、圧着端子と絶縁キャップをご使用ください。
- 本体の端子ねじはM3.5です。適正締付トルク(P.1)にて確実に締付けてください。
- 電源はAC100Vの分岐ブレーカを接続し、専用回路としてください。

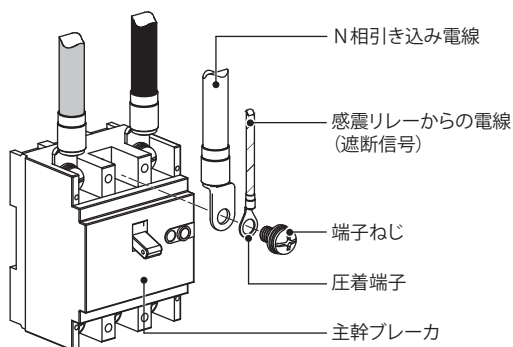


■主幹ブレーカへの配線

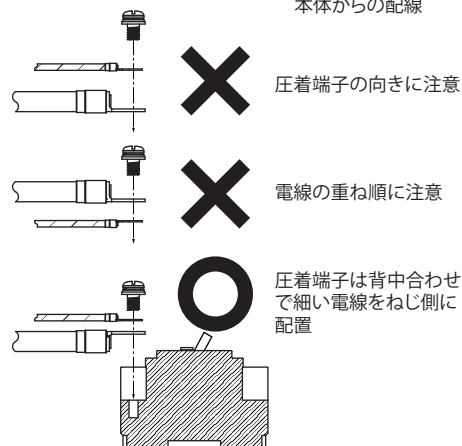
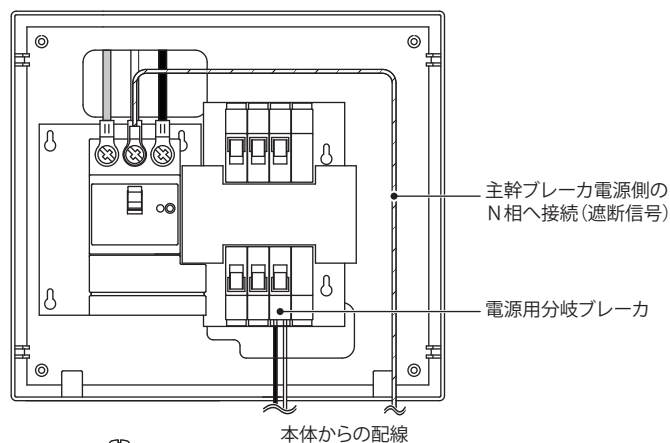
本体へ配線が完了した後、主幹ブレーカへ配線します。

ご注意

- ・ご使用の主幹ブレーカの端子サイズに合った圧着端子をご用意ください。
- ・圧着端子を重ねて使用する場合は2枚までとし、電線サイズの細い電線がねじ側になるように配置してください。
- ・1つの圧着端子へ2本以上の電線を接続する場合は圧着端子のサイズに注意してください。



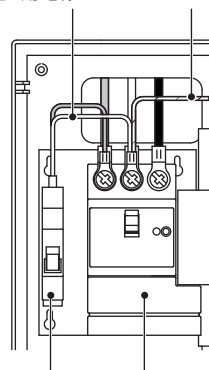
主幹ブレーカ



●配線の例

○一次送り用ブレーカがプチスリムブレーカの場合

一次送り用電線 感震リレーからの電線 (遮断信号)



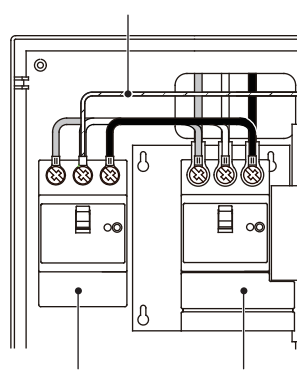
一次送り用ブレーカ 主幹ブレーカ

- ①電源側N相一次送り用電線の圧着端子を取外す。
- ②感震リレーからの電線 (遮断信号) と一次送り用電線の2本を一つの圧着端子で圧着する。
- ③主幹ブレーカの電源側N相端子へ取付ける。

推奨圧着端子 : R-5.5

○一次送り用ブレーカが協約形の場合

感震リレーからの電線 (遮断信号)



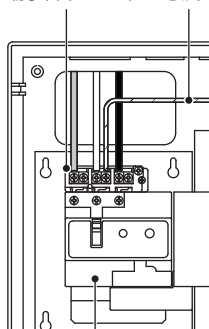
一次送り用ブレーカ 主幹ブレーカ

- ①一次送り用ブレーカのN相電線を取外す。
- ②取外した電線の圧着端子をねじり、感震リレーからの電線 (遮断信号) の圧着端子と背中合わせに取付ける。

○JIS互換性主幹ブレーカの場合

一次送り端子台 (HPJ-30) をご用意ください。

一次送り端子台 (HPJ-30) 感震リレーからの電線 (遮断信号)

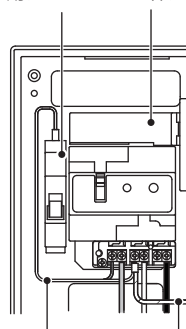


主幹ブレーカ (JIS互換性形)

- ①電源側電線を全て取外す。
- ②一次送り端子台を取付け、N相送り端子に感震リレーからの電線 (遮断信号) を取付ける。
- ③電源側電線を全て取付ける。

○JIS互換性主幹ブレーカの一次送り端子台付で下入線の場合

一次送り用ブレーカ 主幹ブレーカ (JIS互換性形)



一次送り用電線 感震リレーからの電線 (遮断信号)

- ①電源側N相一次送り用電線を端子台から取外す。
- ②感震リレーからの電線 (遮断信号) と一次送り用電線の2本を一つの圧着端子 (棒圧着端子) で圧着する。
- ③N相送り端子へ取付ける。

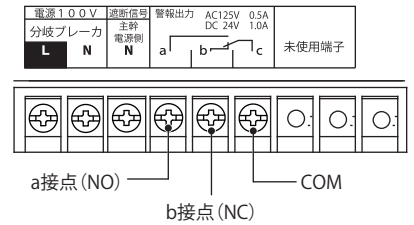
推奨棒圧着端子 : TUB-5.5 (日本圧着端子製造)

■警報出力の接続

警報出力を使用する場合のみに適用します。

ご注意

- ・ブザーが鳴動、感震動作ランプが点滅する間は、警報接点が出力します。
- ・AC125V 0.5A以下、DC24V 1.0A以下の抵抗負荷でご使用ください。
- ・端子への電線接続には、必ずM3.5の圧着端子と絶縁キャップをご使用ください。
- ・配線長は20m以下としてください。

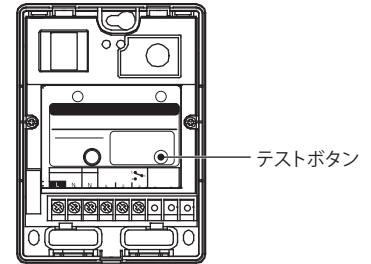


■テスト確認

①配線が終了したら、電源用分岐ブレーカ、主幹ブレーカおよび上位ブレーカをONにし、本体のテストボタンを短押し(2秒未満)してください。

②次のことをご確認ください。

- ・ブザーが鳴動すること。
- ・感震動作ランプが点滅すること。
- ・約3分後に主幹ブレーカが遮断すること。
- ・警報出力を使用している場合、警報接点が出力すること。



ご注意

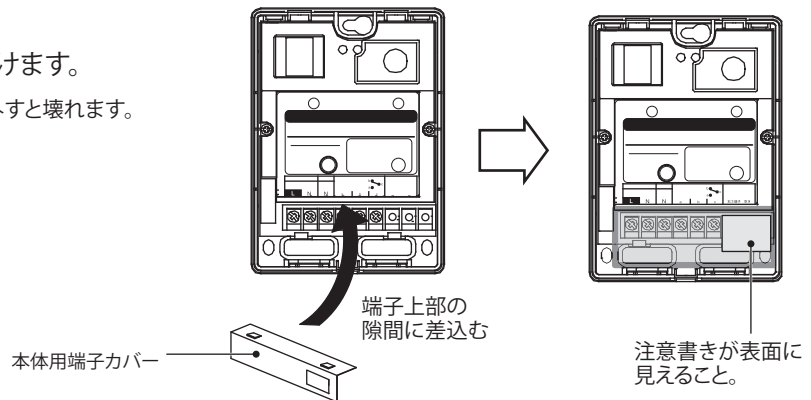
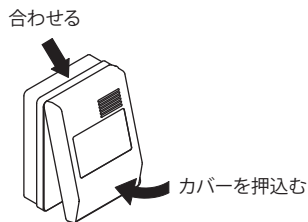
- ・動作しない場合は、電源の相など、正しく配線されているかご確認ください。
- ・テスト動作の詳細については、テスト機能について(感震リレーMG4取扱説明書)をご参照ください。
- ・停電補償機能、地震波感知記憶機能により本体電源印加時に、主幹ブレーカが遮断する場合がありますが異常ではありません。再度主幹ブレーカをONにしてください。

■端子カバー・カバーの取付

①本体の端子に本体用端子カバーを取付けます。

ご注意 一度取付けると取外せません。無理に外すと壊れます。

②カバーを取付けます。



付属品 本体用端子カバー 1コ

施工業者名	
TEL	施工年月日 年 月 日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2015 年 3 月現在のものです。

B495005925